



## 協議会発足 10 周年を迎えて

全国病児保育協議会会長 藤本 保

10 周年記念事業は、それぞれの委員長の下に  
着々と進められています。特に、10 月 27 日、28 日  
の両日に東京に於いて、青山学院大学で開催されま  
す 10 周年記念式典および講演会と研修会は研修会  
会長の庄司順一先生と事務局長の宮田章子先生のご  
尽力で 10 年の区切りに相応しい企画で盛大に行わ  
れるべく準備されています。

今までの 10 年を振り返り、協議会として更なる  
発展を期し、新たな計画とその実行、様々な挑戦  
をして行かねばと改めて決意しているところです。  
その最初の取り組みとして、『健やか親子 21』への  
参加で成果を挙げたいと考えています。

具体的には、本年 5 月の総会で決定しましたの  
で、『健やか親子 21 推進協議会』に加盟し、全国病  
児保育協議会としての活動計画を提出しました。ま  
た、6 月 27 日に東京で催された推進協議会の第 1  
回全国大会『新世紀の母子保健～やさしい社会づく  
りをめざして～』に副会長の向田隆通先生が出席し  
ました。その後推進協議会から行動計画の「健やか  
親子 21 ホームページ」への掲載について問い合わ

せがありましたので、承諾する旨を回答し、今回の  
10 周年事業での研修会プログラムや平成 12 年度の  
調査研究報告を掲載するようにしました。

新しい入会案内が出来、研修会の案内と共に未入  
会施設に東京の研修会事務局からお送りして頂いた  
所、非常な反響で入会問い合わせがあり、次々に入  
会があり今や加盟施設数が 170 を越えました。保育  
所併設施設が増加している傾向が窺えます。今年の  
目標の一つである加盟率を増強することは達成され  
つつありますが、まだまだです。是非、未入会の施  
設を御存知であれば、病児保育事業の向上を目指し  
て共に研鑽することを呼びかけ、入会を勧めて下さ  
い。

最後に、心苦しいお願いを申し上げます。10 周  
年記念事業を成功させるために種々の関連する方々  
からの協賛をお願いしなくてはなりません。御寄付  
依頼書と記念誌への広告依頼書を協議会事務局で準  
備していますので、ご協力いただける方は御一報く  
ださい。すぐにお送りいたします。皆様方会員施設  
からのご協賛も是非お願い申し上げます。

## 10 周年記念事業 第 10 回研修会のトピックス

全国病児保育協議会研修委員長 向田 隆通

今年は、全国病児保育協議会が発足してから 10  
年を迎えました。その記念の職員研修会として、東  
京の青山学院大学で庄司先生の元で研修会を開催す  
ることになりました。前日の土曜日は、特別講演、  
基調講演、教育講演をいただきます。夕方からは記  
念式典・パーティーを行います。

日曜日の分科会は、下記の 6 つに分かれて行いま  
す。特にここ 1 年の協議会参加施設が増えている  
こと、参加しやすい東京であること等より、参加人  
数が多くなることが予想されます。1 つ 1 つの分科  
会の人数が多くなる可能性があり、可能な範囲で分  
科会の数を増やしました。そうすると、あちらにも  
こちらにも参加したいという方もおられるかもしれ  
ません。そのような場合のために、分科会終了後に  
30 分ではありますが、全体会で分科会の司会の方  
にまとめの発表を行っていただきます。

また、協議会ニュースでも簡単に報告があるもの  
と思います。各施設では、それぞれが参加した分科  
会での成果を持ち帰って、各施設の病児保育の質の  
向上に役立てていただきたいと思います。新たに事  
業を始めようと思って来られる施設は、環境が整っ  
て病児保育が開始できますように頑張っていただ  
きたいと思います。

それでは、10 月 27 日、28 日に東京、青山学  
院大学でお会いしましょう。

- 1) 保育士のための看護知識
- 2) 病児保育室の感染予防
- 3) 保護者との情報の伝達、共有、記録
- 4) 保育所型の病児保育
- 5) 病児保育の自己評価
- 6) 新規開設のための何でも相談 Q & A

## 10周年記念事業 第10回研修会開催要項について

**日時：**平成13年10月27日(土)、28日(日)  
**場所：**青山学院大学総研ビル、青学会館ナルド

<b>第1日目 10月27日(土)</b>	
13:30	開会あいさつ <span style="float: right;">10周年記念研修会 会長 庄司 順一</span>
14:00	会長あいさつ <span style="float: right;">全国病児保育協議会 会長 藤本 保</span>
14:00	特別講演 「母子保健の動向 - 健やか親子21 - 」 恩賜財団母子愛育会日本こども家庭総合研究所
15:00	座長：藤本小児病院 <span style="float: right;">所長 平山 宗宏先生 院長 藤本 保</span>
15:10	基調講演 「病(後)児保育 - 10年の歴史と課題 - 」 東京都立母子保健院
16:10	座長：(医)保坂小児クリニック <span style="float: right;">院長 帆足 英一先生 理事長 保坂 智子</span>
16:10	休憩
16:30	
16:30	教育講演 「子どもの心の健康を考える」 社会福祉法人五豊会
17:30	座長：野澤医院 <span style="float: right;">理事長 豊永せつ子先生 院長 野澤 良美</span>
18:00	10周年記念式典・パーティー
20:00	

<b>第2日目 10月28日(日)</b>	
9:00	<分科会> 第1分科会 保育士のための看護知識 第2分科会 病児保育室の感染予防 第3分科会 保護者との情報の伝達、共有、記録 第4分科会 保育所型の病児保育 第5分科会 病児保育の自己評価 第6分科会 新規開設のための何でも相談Q & A
11:00	
11:00	<全体会>
11:30	

**各会場案内**

< 10月27日(土) >

13:30~17:30 講演会 .....青山学院大学総研ビル  
 18:00~20:00 10周年記念式典・パーティー .....青学会館 ナルド

< 5月20日(日) >

9:00~12:00 分科会 .....青山学院大学総研ビル  
 11:00~11:30 全体会 .....青山学院大学総研ビル

**特** **保育園が協同で取り組む子育て支援  
～おやこの森での病後児保育を中心に～** **集**

延岡市法人立保育園協議会会長  
杉の子保育園園長 木本 宗雄

**1. 「おやこの森」誕生の経緯**

延岡市における子育て支援の取組みは、昭和60年に乳幼児健全育成相談事業の指定を受け、育児相談を始めたのが最初である。数年間は指定園単独の活動が続いた。しかし、市内全体への広がりには限界があり、平成元年から保育園が協同で実施することにした。

保健所の乳幼児健診の時に相談員を交替で派遣したり、各保育園での相談体制も整えた。平成6年からは、大型店での相談も開始。買い物ついでに気軽にできるのが良かったのか、保育園の育児相談が徐々に市民へ浸透していった。

このような地域の子育て支援を進めていく中で、親子と一緒に遊べる「場所づくり」の必要性を痛感する。社協の部屋を借りたり、児童館跡の建物を譲り受け、「子育て広場」を始めた。平成12年には、少子化臨時特例交付金の助成を受け、保育園が共同して、念願の子育て支援センターも建設した。鉄骨造り2階建て。延べ床面積278平方メートル。名称も公募して「おやこの森」と命名し、本格的な子育て支援活動を始めたのである。

**2. 「おやこの森」の子育て支援事業**

「おやこの森」では、現在、地域子育て支援センター事業と、乳幼児健康支援デイサービス事業の指定を受け、各種の子育て支援事業を実施している。事業内容は、親子の「子育て広場」を中心に、育児用品のレンタル、テレホンサービス、育児相談、病後児保育など。スタッフは保育士2名、看護婦2名、パート2名の計6名。

早いもので、「おやこの森」も開館し、1年半になる。多い月には、延べ千名以上の親子の方が利用。これからの取組みとしては二つのことを検討中。一つは、市内の各保育園と連携し、各地に育児サークルを作ること。もう一つは、育児ヘルパーを養成し、家庭への派遣事業を開始すること。今年は、その土台となる育児ボランティアの養成に取り組んでいる。

**3. 「おやこの森」の病後児保育**

延岡市の病後児保育は、平成11年度から開始。最初は病院に併設されていた。病院の5階にあり利便性が悪いうえに利用条件も厳しく、ほとんど利用者がいない状態で推移したのである。

行政から利用促進の相談を受け、平成12年度からは、「おやこの森」で実施することに決定。急遽、図書室に予定していた部屋を改造し、病後児保育室にした。利用者の中には、病児保育に不安がる人もいた。ところが、実際に利用してみると、看護婦が配置されたために、支援センターの機能もアップし、利用者にも喜ばれている。

**4. 病後児保育の課題**

病院併設時に比べると利用も増え、保護者からも歓迎されている。しかし、一年あまり病後児保育を実施して、現行制度の課題も感じている。子どもが病気の時は、子どもに一番身近な者が看護することが理想である。慣れていない場所で見知らぬ者が看護するより、保育ママ制度や各保育園で預かるシステムを導入する方が、子どもにも負担が少ないと思われる。また、現行制度はあくまでも病気回復期の子どもを対象にしたものなので、病気中や保育園で発病した場合は対象外になり、やむなく保育園で看護している現状もある。子ども本位の利用しやすい病後児保育制度へ向けて、さらなる制度の改善が望まれる。

**[施設紹介]**

施設名 子育て支援センター「おやこの森」  
 代表者 木本宗雄  
 住 所 宮崎県延岡市山月町1丁目4743番地  
 電 話 0982-33-0204  
 F A X 0982-33-0292  
 開設日 2000年4月1日  
 定 員 (1)子育て支援センター ～定員なし  
 (2)病後児保育 ～4名  
 年 齢 乳児～低学年児童まで  
 時 間 午前7時～午後6時  
 職 員 保育士(2名)看護婦(2名)  
 パート保育士(2名)計6名



## 病児保育室訪問 13

### のせおおうち病児保育所

山口市は山口県庁所在地で西の京といわれる盆地の町です。住民の4～5割が公務員で占めています。市周辺の過疎化に反し、市内の母親の就業率は高く、核家族化と少子化が確実に進んでおります。

我々は小児科外来を受診する親たちの要望もあり、平成9年4月無認可保育所として当病児保育所をスタートさせました。その後、平成11年に認可され現在に至っています。

病児を預かるにあたって最も熟慮したことは、環境・設備でした。約100坪（診療所の2階）のスペースに病児の安全と安らぎを考慮し、6病室と40畳のプレールームを用意しました。4年間で延べ約3500人の病児を保育しましたが、外来診療だけの児よりも病児保育児への親しみがより深く感じる昨今です。最近では、児達も病気の時は当保育所へ喜んで来るようになりました。入室時、泣かない子や母親に手を振る子が多くなりました。病児保育は社会状況と連動しており、今後いつ果てるとも分からない課題が山積みしています。しかし、我々は病気で苦しんでいる子とその親に、1人でも多く病気の回復と安らぎの場を提供したいものです。

21世紀の地域小児医療活動として小児科医に求められることは、病気の予防と保育治療に目を向ける

ことではないかと考えつつ、日々の病児保育に取り組んでおります。

#### <施設紹介>

施設名 のせおおうち病児保育所  
 代表者 理事長 野瀬善光  
 住所 〒753-0215  
 山口県山口市大内矢田 627-1  
 電話 083-927-2655  
 F A X 083-927-6926  
 E-mail nose@bronze.ocn.ne.jp  
 開設日 平成9年4月1日  
 定員 16名  
 対象年齢 0～10歳  
 職員数 小児科医1人、看護婦4人、保育士3人、その他2人



## 病児保育室訪問 14

### ひよこ保育園

当病児保育施設は、市より委託を受け保育所併設型として開設されました。日向市で初の病児保育施設ということもあり、開設の際に行政・医師会・保育園間の連携が思ったようにならず苦労の連続でした。時間は要しましたが、行政・医師会の方々のご協力のもと、ようやく体制作りもほぼ整い運営を開始する運びとなりました。宮崎市にある「赤ちゃん広場」の堀口先生には、親切丁寧にご指導いただきました。施設に必要なものから、書類の整備、運営に関することまで気軽に助言していただき大変参考になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

運営の準備と同時に病児保育施設についての周知を手作りのパンフレットを主に行いました。医師会はもとより小児科には直接お伺いし、病児保育の案

内とパンフレットの常備をお願いしました。他に市の福祉事務所、保育園にもパンフレットを置いてもらっています。核家族が増加している昨今、病児保育のニーズは大きくなっていくことが予想されますが、日向市という牧歌的な立地条件では、保護者の育児面で祖父母や親戚、地域の協力が得られやすく、病時保育の利用も少ないのではないかと不安がありました。開設より5ヶ月を経て順調に利用者は増えています。

開設当初は当施設の普通保育に来ている保護者にさえ、病児保育がどこか特異なもので、受け入れにくいと感じられていたようでした。そこで病児保育利用者のいないときには、当施設の普通保育の場に積極的に行き、登退園時間に保育士と一緒に出迎え・見送りをすることで保護者・園児と語り合い、信頼関係を築いていきました。また、保護者へ

毎月園だよりを発行しているのですが、その中に「病児保育 News」として季節やその月に応じた疾病の特徴および予防対策などを付け加え、子供の病気に対する正しい知識を伝えています。

当施設の普通保育の児童においては一部急性期の症状が見られた場合、保護者が迎えに来るまで一時的に病児保育室で預かり、保護者の方に安心していただけるよう努めています。昼食・おやつは完全給食を実施しており医師の指示や病状に合わせ除去食にも対応しています。

病児保育を運営していく上でもっとも重要視していることの一つに、保護者・園児とのコミュニケーションがあります。利用者の方々の意見や感想・希望等をできるだけ敏感に収集できるよう努めながら、情報提供として、家庭に帰ってからの保育指導を病状に応じて行っています。一時預かりの終了後も安心して子供を保育できるよう少しでもお役に立てたらと思っています。まだまだ試行錯誤の毎日ではありますが、全国病児保育協議会の研修会等にも積極的に参加させていただき、今後も安心して利用してもらえ施設作り、システム作り、自己研鑽に励んでいきたいと考えています。

<施設紹介>

施設名 ひよこ保育園  
 代表者 理事長 山本 巖  
 住 所 〒753-0215  
 宮崎県日向市財光寺 4625-3  
 電 話 0982-54-5508  
 F A X 0982-54-5509  
 E-mail webmaster@hiyoko.or.jp  
 開設日 平成13年4月25日  
 定 員 4名  
 対象年齢 0~9歳  
 職員数 2名<必要に応じて保育士を充当>



**病 児 保 育 室 訪 問 15**

*エンジェルさんのおうち*

わたしたち「エンジェルさんのおうち」は、6年前、大地震にみまわれた神戸市の北部、有馬温泉の近くにある真星病院の中にあります。星好きだった前院長が患者さまがそうあってほしいと願う”あらまほし”医療ができるような病院、宇宙の中央で輝く星のような病院という願いのもと、21年前に建てられた病院です。

この辺りは以前は、のどかな田園地帯でしたが有馬温泉や三田市へと続く神戸電鉄沿いに新興住宅地が建ち、神戸市街地や大阪のベッタウンとなり、働く婦人も多く病児保育を望む声が上がってまいりました。私も3人の子どもを保育園に預けながら仕事を続けていく上で、一番辛かったのは子どもが病気の時でした。

以前、小児科の北川先生が神戸の鐘紡病院にいらした時に、病児保育を始めようと市に掛け合わせましたが、地震後で予算が無いとの理由で折角の計画も実現できないままになっておりました。けれども、幸い真星病院には看護婦さんたちスタッフの子どもさんたちの為に24時間体制での保育を委託している施設内保育所があり、その保育士の先生

方が協力してくださることになっていました。

また、院内では神戸市の認可を受けホームヘルパーの2級と3級の養成講座を開いておりますが、その卒業生の方たちが中心となりボランティアグループを結成し、協力してくださることになりましたので補助金は無いけれど皆の熱意と好意で、とにかく2年前、「エンジェルさんのおうち」を立ち上げることができました。

場所は病院内の一室です。丁度、患者さまとご家族のために作られた畳敷き12畳の部屋がありましたので、そこに冷蔵庫やテレビなどを置き団地の一室風の子ども部屋に変身させました。けれども隔離室はありませんので感染症の場合は同一の感染症でなければ、お一人しかお預かりできないこともあり、また、土・日、祝祭日はお休みですので、まだ、お預かりできる体制が充分とはいいいきれません。

けれども、ベテラン小児科医の石井先生が、いつも近くに居てくださり診察を受けられること、保育士の先生とボランティアの方々の手厚い介護と看護婦さんによる与薬と看護、管理栄養士による病状にあわせた献立の昼食とおやつ、等のソフト面での充実 は皆様に胸を張ってほこれるものと自負しており

ます。

また、毎月1回、病児保育に携わって頂いているスタッフの方たちの他、近隣の小学校の養護教諭のかたにも加わって頂いて石井先生による勉強会を開いています。子どもたちの腹痛や痙攣など症状別のお話で、わかりやすく、また、何でも聞ける場として大変好評です。

大地震で神戸が失ったものは、かけがえのない命をはじめ多くの財産でしたが、得たものも多くありました。その一つは助け合い支え合う精神でした。地域のあちこちに作られた仮設住宅での炊き出しや慰問など、行政のお仕着せではない地域住民の中から生まれた活動が子育て真っ最中の働くかたを助ける運動につながっています。この好意と熱意をより確実な継続できるものとし、また、他の施設にも広げるために公的補助を受けられるように活動していくことが私たちの課せられた今後の課題と思っております。

<施設紹介>

施設名 エンジェルさんのおうち  
代表者 院長 大石麻利子

住所 〒753-0215  
兵庫県神戸市北区山田町上谷上字古古谷  
12-3 真星病院内  
電話 078-583-7121  
FAX 078-583-8902  
E-mail mahoshi@silver.ocn.ne.jp  
開設日 1999年9月20日  
定員 4名  
対象年齢 0~10歳  
職員数 小児科医師1名、眼科医師1名、看護婦  
2名、保育士5名、ボランティア16名



感染症情報

「病後児保育室 ようせい」

大久保 真弓

小児科医として一番怖いのは脱水です。グッタリしてるのを良く眠っていると勘違いすると大変に危険で、小児の場合、たった一晩でも状態は急変して取り返しのつかない事になります。尿量が通常より少ない、泣き声が弱い、涙が出ていないなど小さい体が必死に出している SOS を見逃さない注意が必要です。

ところで、秋は「気管支喘息」のシーズンです。最初の発作も春か秋に出やすいですし、喘息を既に持っている子供は気圧の変化などに対応出来ず、春・秋に症状が悪化してしまう傾向があります。気管支喘息が遺伝すると言うのは否めません。両親のどちらかが気管支喘息でなくても、アレルギー性鼻炎やアトピー性皮膚炎を持っていると子供が喘息になる確率はかなり高くなります。1才半過ぎたら血液検査の結果も信頼がおけるので採血してみてください。原因はハウスダスト・ダニへのアレルギーの場合が多いですが、日本でこの

原因を完全に取り除くことは不可能です。それでも、なるべくフローリングの部屋でベッドに寝かせる、掃除をする時忘れずにカーテンの埃も掃除機で吸い取る、布団を干して叩いた後も内部から叩き出されたダニを掃除機で吸い取る、出来れば喘息やアトピーの子供達用に開発された寝具を使うなどの工夫はしてあげたいものです。治療には抗アレルギー剤（アレルギーの反応を弱める）、気管支拡張剤（気管支の狭窄を改善する）、去痰剤（痰を出やすくする）、抗ヒスタミン剤（喉に鼻水が流れ込んで咳を誘発している場合に処方しますが、副作用で気道が乾燥するので使いすぎは避けます）、ステロイド剤（喘息の原因である炎症を押え込む）、抗生物質（風邪が喘息の発作を誘発することが多いので、その時には感染症の治療）を使います。経口薬・吸入薬などが年令や症状に応じて処方されます。使い方を誤ると心臓に負担がかかる薬もありますので、指示通りに使うことが大切です。

但し、喘息の治療での最優先もやはり水分補給なのです。脱水で気道が乾燥し去痰出来なくなると症状が悪化してしまいますので、水分は十分与えてください。



- 新規加入の全国病児保育協議会施設 -

- 138 綾南町病児保育室 うぐいす  
院長 安部 行弘  
〒761-2103  
香川県綾歌郡綾南町陶 5779  
綾南町国民健康保険陶病院  
TEL : 087-876-1185 FAX : 087-876-3795
- 139 天使こどもデイサービスセンター  
院長 手戸 一郎  
〒065-8611  
北海道札幌市東区北 12 条東 3 丁目 31  
(社) 天使病院内  
TEL : 011-711-0101 FAX : 011-751-1708
- 140 病後児ホーム つくしんぼ  
施設長 大野 定利  
〒532-0028  
大阪府大阪市淀川区十三元今里 3-1-72  
(社) 博愛社  
TEL : 06-6301-0367 FAX : 06-6301-5347
- 141 佐賀市病後児保育室 かるがものへや  
院長 香月 義美  
〒840-0025  
佐賀県佐賀市本庄町鹿の子 200-1 香月医院内  
TEL : 0952-26-7628 FAX : 0952-26-7628
- 142 (医) 清志会 福岡医院  
園長 福岡 亮一  
〒891-0603  
鹿児島県揖宿郡開聞町十町 2807  
TEL : 0993-32-2100 FAX : 0993-32-2792
- 143 (医) 多代小児科  
施設長 多代 正彦  
〒458-0801  
愛知県名古屋市緑区鳴海町山ノ神 125-1  
TEL : 052-892-1101 FAX : 052-895-0776
- 144 わたぼうし病児保育室  
院長 塚田 次郎  
〒942-0072  
新潟県上越市栄町 2 丁目 2-25  
(医) 塚田こども医院内  
TEL : 0255-44-7777 FAX : 0255-44-8456
- 145 ちびっこケアルーム  
理事長 辻 光治  
〒586-0033  
大阪府河内長野市喜多町 189-1 (社) 光久福祉会  
TEL : 0721-62-4976 FAX : 0721-62-4976
- 146 (医社) はやしクリニック  
院長 林 泉彦  
〒194-0035  
東京都町田市忠生 2-28-7  
TEL : 042-793-3055 FAX : 042-793-1856
- 147 かねこキッズルーム  
院長 金子 淳子  
〒753-0061  
山口県宇部市上町 1 丁目 6 - 16  
金子整形外科・小児科医院  
TEL : 0836-22-0006 FAX : 0836-22-6887

- 148 河村病院 病児保育園 クララ  
理事長 河村 保男  
〒501-3144  
岐阜県岐阜市芥見大般若 1 丁目 84 番地  
(医) カワムラヤスオメディカルソサエティ  
TEL : 058-241 - 3311 FAX : 058-241 - 3066
- 149 病後児保育室 ようせい  
室長 増田 真有美  
〒121-0064  
東京都足立区保木間 1-37-20  
TEL : 03-5831-3550 FAX : 03-3860-5629
- 150 (社) 愛泉福祉会 双葉保育園  
園長 吉徳 伸一  
〒899-7102  
鹿児島県曾於郡志布志町帖 6565-1  
TEL : 0994-72-0544 FAX : 0994-72-0548
- 151 げんきっこホーム  
ホーム長 川井 昭三  
〒552-0015  
大阪府大阪市港区池島 3-7-1 海の子学園入舟寮内  
TEL : 06-6571-1515 FAX : 06-6571-1515
- 152 大念仏乳児院  
施設長 杉田 善久  
〒547-0045  
大阪府大阪市平野区平野上町 1-7-3  
TEL : 06-6791-5410 FAX : 06-6791-1992
- 153 なずな病児保育室  
院長 前田 敏子  
〒458-0006  
愛知県名古屋市長区細口 3 丁目 531  
TEL : 052-877-7588 FAX : 052-877-7595
- 154 病児保育所 げんきキッズ  
院長 南川 逸雄  
〒361-0007  
埼玉県行田市小見 1400-1 (医) 悠希会  
TEL : 090-8111-8751 FAX : 048-554-8836
- 155 上野市病児保育室 くまさんルーム  
会長 藤田 彰信  
〒518-0869  
三重県上野市中町 2976-1  
(社) 上野市社会福祉協議会  
TEL : 0595-22-0192 FAX : 0595-24-9905
- 156 病後児保育室 キッズルームたけの子  
院長 小田 良彦  
〒951-8066  
新潟県新潟市上大川前通 6-1183 竹山病院  
TEL : 025-228-7171 FAX : 025-229-2330
- 157 第二福澤保育センター  
園長 福澤 邦康  
〒222-0026  
神奈川県横浜市港北区篠原町 2823  
TEL : 045-434-1135 FAX : 045-434-1135

新規加盟施設紹介は 8 ページにも掲載しています。

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXでお送り下さい。直接回答させていただいたり、ニュース等に掲載させていただきます。送付先：FAX 0422-49-9752 広報の帆足まで。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

病児保育室名： \_\_\_\_\_

お名前： \_\_\_\_\_

必携

全国病児保育協議会編（帆足英一監修）

「新 病児保育マニュアル」完成

病児保育に従事している保育士・看護婦必携の「新 病児保育マニュアル」が完成しました。是非、一人一冊手元においてご活用ください。

病児保育を展開していく上での「保育看護」の専門性をいかに高めればよいか、その具体的な内容が記述されています。

協議会加盟施設の場合

1,500円(+送料)

その他の場合

2,500円(+送料)

申し込みは全国病児保育協議会事務局まで

「子どもの会話コーナー」を連載中!

病児保育室で繰り広げられる子ども達のほほましい光景大募集しています。

<協議会ニュース 編集事務局>

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町1の19の2

帆足 暁子 宛

FAX 0422-49-9752

E-mail ehoashi@parkcity.ne.jp

158 のせおおうち病児保育所

理事長 野瀬 善光

〒753-0215

山口県山口市大内矢田 627-1 野瀬内科小児科内

TEL: 083-927-2655 FAX: 083-927-6926

159 (医)石川小児科 ジョイルーム

理事長 石川 純一

〒791-0203

愛媛県温泉郡重信町横河原 337-1

TEL: 089-955-0333 FAX: 089-955-0330

160 (医)野口内科こども医院内 ちいさな世界

理事長 野口 哲彦

〒856-0813

長崎県大村市西大村本町 264

TEL: 0957-52-2339 FAX: 0957-52-2555

161 吉岡町乳幼児健康支援サービスセンター

施設長 竹内 香代子

〒370-3602

群馬県北群馬郡吉岡町大久保 3347-10

竹内小児科内

TEL: 0279-30-5151 FAX: 0279-30-5150

162 福井県済生会乳児院

院長 佐賀 和子

〒918-8235

福井県福井市和田中町徳万 26 番地

TEL: 0776-30-0300 FAX: 0776-30-0301

163 未来館

理事長 土井 紀弘

〒270-1101

千葉県我孫子市布佐 834-28

TEL: 0471-89-1111 FAX: 0471-89-5079

これ以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局

〒870-0943 住所：大分県大分市大字片島 83 - 7 藤本小児病院気付

担当：伊東 美紀・森川 茜

電話：097-567-0050(代表) FAX：097-568-2970